

# 花乃井だより

学校  
通信

令和2年7月8日(水)

第15号

大阪市立花乃井中学校

## いくつになっても七夕に願いを込めて

七夕に際して各クラスでさまざまな取り組みがありました。3年生は学年フロアの廊下に「輝樹」が登場。それぞれの思いがこもった短冊が掲げられています。教室の後ろに笹飾りを作ったクラスもありました。みんなの願いが少なからずかなうといいですね。特に今年はコロナ禍でみんな困っているので……。



## 定期テスト 1週間前!!

来週は今年度初の定期テストです。1年生の皆さんには初の定期テストがいきなり期末テストとなってしまいましたが、準備は大丈夫でしょうか。また、3年生は月曜日に第1回目の実力テストがあったばかり。いよいよ卒業後の進路へ向けた取組がスタートしました。定期テストは範囲がきちんとありますので、計画を立ててその通りに頑張って勉強していくことが何よりも大切です。特に1学期はこの1回のテストとこれまでの課題や授業の様子で成績が決まってきます。悔いが残らないように取組みましょう。

全校集会に代えて

今週は月曜日が3年生の第1回目の実力テスト、火曜日が雨天ということで朝の全校集会がありませんでした。そこで、この紙上にお話をしたいと思います。

「現時点できることに集中する」これは、米プロバスケットボールNBAで2人目の日本人プレーヤーとなった、渡邊雄太選手の信条です。彼が膝の“成長痛”に悩まされた中学時代のことです。思うように練習できない自分に比べ、他の選手はどんどん上達していく。彼は焦る気持ちを抑えて膝に負担をかけない練習方法を考え抜きました。その一つが高くジャンプせず、素早く正確なシュートを打つ練習です。ひたすらシュートを打ち続けました。現在、バスケットボールの本場アメリカで、自分よりはるかに背の高い選手と渡り合えるのは、この中学時代のシュート練習があったから、と渡邊選手。「現時点できることに集中して取り組んでいれば、それは必ず将来生きてくる。」と断言しています。(『「好き」を力にする』KADOKAWAより) 夏の甲子園やインターハイ、各種コンクールなど、小・中学生、高校生の多くの大会が中止や延期となっている本年。練習の成果を発揮できない悔しさはあるでしょうが、積み重ねた努力はけっして消えません。一つひとつが人生の糧となるはずです。「苦しんだ分だけ、将来、必ず大きな花が咲く」そう信じて、「現時点できることに集中」していきましょう。